

はじめに

愛知県では、SDGsの達成に向けた取組を推進しており、2019年には、「SDGs未来都市」に選定されました。SDGsの達成期限である2030年の愛知県のあるべき姿に向けて、経済・社会・環境をめぐる幅広い課題に一体的に取り組みながら、県民の皆様と一緒に持続可能な社会を目指しています。

こうした中、社会全体でSDGs推進の気運が高まっており、特に、経済活動の中心である企業等の役割が重要となっています。そこで、持続可能な社会の構築に向けて、先進的・積極的に取り組む企業の取組を紹介する事例集を作成しました。

事例集の作成にあたっては、大学生等が県内企業取材し、執筆する形で、次代を担う方々にご協力いただきました。本冊子には、県内大学等で学ぶ18名が、県内企業8社取材し、執筆した記事を掲載しています。

未来の愛知がより暮らしやすく豊かになるよう、本冊子が企業の皆様におけるSDGsに関する具体的な取組の参考となれば幸いです。

SDGs未来都市について

SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に経済・社会・環境の3側面における新しい価値創出を通じて持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として内閣府から選定されるものです。

SDGsとは？

誰一人取り残さないようにするために、世界で取り組む**17**の共通の目標

 1 貧困をなくそう	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	 13 気候変動に 具体的な対策を
 2 飢餓をゼロに	 8 働きがいも 経済成長も	 14 海の豊かさを 守ろう
 3 すべての人に 健康と福祉を	 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	 15 陸の豊かさも 守ろう
 4 質の高い教育を みんなに	 10 人や国の 不平等をなくそう	 16 平和と公正を すべての人に
 5 ジェンダー平等を 実現しよう	 11 住み続けられる まちづくりを	 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
 6 安全な水とトイレ を世界中に	 12 つくる責任 つかう責任	

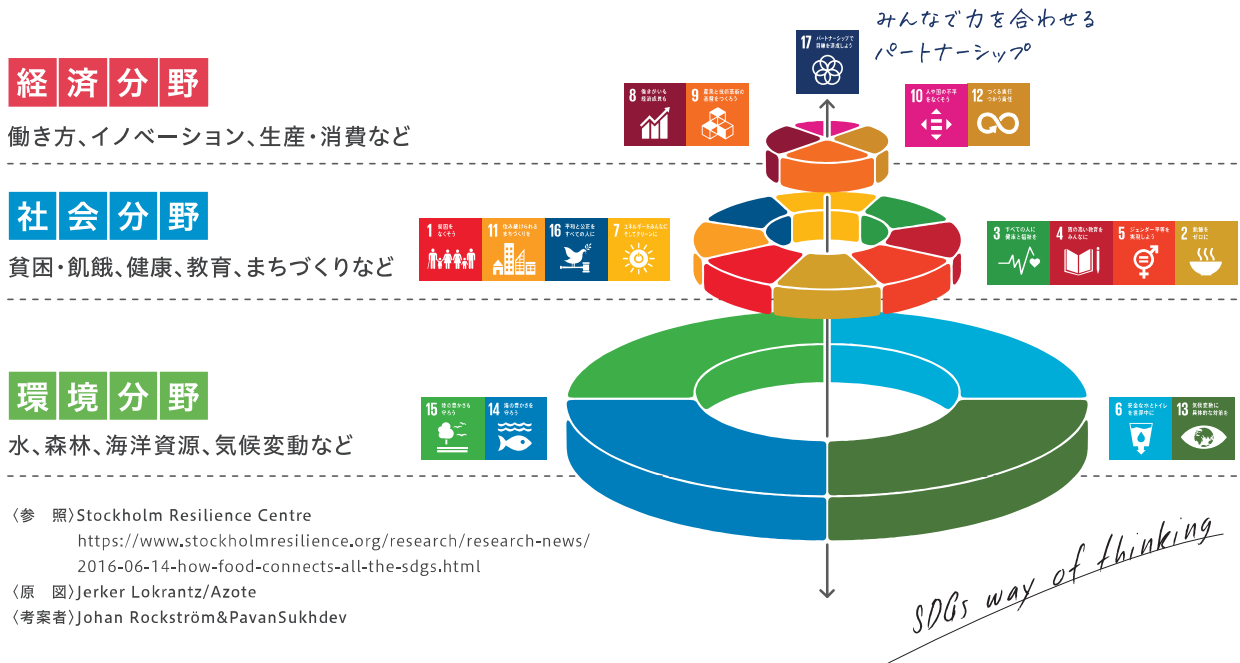
Sustainable Development Goals

【持続可能な】 【開発】 【目標】

SDGsとは、2015年に「国連持続可能な開発サミット」において採択された17の持続可能な開発目標のこと。2030年までにこれらの目標の達成を目指しています。

SDGsの考え方

SDGsの17の目標は、「経済」「社会」「環境」という3つの分野に大きく分けることができます。下の図では、経済分野は社会分野に、社会分野は環境分野に支えられ、3つが密接に関わっていることを意味しています。さらに、3つの分野の課題を解決するためには、みんなで力を合わせて解決に向けて協力する「パートナーシップ」が重要になります。



企業が取り組む意義

企業がSDGsに取り組むことは、SDGs達成に向けたステークホルダーとしての役割を果たすだけでなく、企業が将来にわたって継続し、より発展していくことにつながります。

SDGsは、あらゆる分野における社会課題が網羅されていて、持続可能な企業経営に必要な、長期的な視点で社会ニーズを把握するためのヒントが詰まっているのです。

【SDGsの活用によって広がる可能性】

企業イメージの向上

取組をアピールすることで、「この会社は信用できる」、「この会社で働いてみたい」という印象を与え、多様性に富んだ人材確保にもつながります。

社会の課題への対応

SDGsが掲げる課題への対応は、経営リスクの回避とともに、社会貢献や地域での信頼獲得にもつながります。

生存戦略になる

今後は、SDGsへの対応がビジネスの取引条件になる可能性もあり、持続可能な経営を行う戦略として活用できます。

新たな事業機会の創出

取組をきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出など、今までになかったイノベーションやパートナーシップを生むことにつながります。